

熱々芋煮おいしいね

天童の特養 調理も参加者一緒

天童市の特別養護老人ホーム明幸園（桜井嘉宏施設長）が隔週日曜に開設している「コミュニティカフェ（コミカフェ）」で10月28日、芋煮会が開かれた。「平成最後の芋煮会」と銘打って呼び掛けたところ



「芋煮のお供にどうぞ」。子どもたちがおにぎりを振る舞った
＝天童市・明幸園

約80人が集まった。調理は全て参加者で、野菜を切ったり、味付けしたりと役割分担して煮込んでいく。四つの大鍋を使い、班ごと微妙に味の違う芋煮が出来上がった。「雪若丸」のおにぎりも振る舞われた。

コミカフェは、高齢者の居場所づくりのため3年前に開設。子どもや学生ボランティアなどにも広がり、世代間交流の場になっている。ほぼ毎回参加するという長岡小2年坂口貴乃さん（8）は「おばあちゃんと一緒に遊べるから楽しい」と熱々を頬張った。

明幸園はコミカフェのほか、認知症の人や家族が集う認知症カフェ、障害者と健常者が集うユニバーサルカフェも開催。多様な人の交流拠点になっている。